



福島支部会報

日本山岳会福島支部

NO 2 OCT . 31. 2014

発行 公益社団法人

日本山岳会福島支部

支部長 小林 正彦

事務局 〒960-8133 福島市桜木町 13-43

渡部 展雄 宅気付

電話(FAX) : 024-533-0541

吾妻小舎で恒例の納涼会開催



9月6日(土)午後6時より、吾妻小舎に小林支部長以下11名が集い恒例の「支部納涼会」を開催した。同小舎は今年4月、長らく管理人を勤めてきた遠藤さん夫妻から新たに高橋さんが管理を受け継ぎ、これまでと変わらぬおもてなしで歓迎を受け、初秋のひと夜参加者一同大いに歓談出来ることができた。この日宿泊した横浜、茨城の山岳会員6名とともに盃を交わし、福島の高山を大いに宣伝するなど、盛会のうちに終了。

翌日、吾妻山霜降り～一切経山までの登山道復旧作業を行う予定のところ、夜半からの大雨で断念。来年度の活動に計画を持ち越すこととした。

北アルプス蝶ヶ岳登山の実施

10月8日(水)～10日(金)の3日間にわたり北アルプス・蝶ヶ岳登山を実施した。参加者は小林正彦支部長ほか佐藤一夫、伊藤義男、深谷金之助、菊池道彦、渡部展雄の6名で、初日上高地の山研に宿泊後、2日目午前6時出発、明神池を経て徳澤園登山口からの急登を喘ぎながら高度を重ね、午後4時ようやく蝶ヶ岳ヒュッテに到着。台風(18号)一過の好天に恵まれ、皆既月食とも重なり、山頂から眺める槍・穂高連峰に一同大いに感激。また遠くに噴煙を上げる御岳山に向かい、遭難死された多くの御霊に手を合わせ下山の途についた。



登山道整備事業の実施結果

平成26年度支部公益事業として、県内山岳の主要登山道のうち未整備の①6/9(月)吾妻中天狗～一切経コース、②7/17(木)野地温泉～箕輪山コース、③9/6(日)吾妻山賽の河原～霜降りスカイラインコースの整備事業については、天候悪化によりいずれも中止とした。来年度の公益事業として再度提案します。

事務局からのお知らせ

● 全国支部長・事務局合同会議の開催

9月20、21日の両日東京において「全国支部長・事務局合同会議」が開かれ、小林支部長渡部総務担当が出席。全国32支部5000人会員の平均年齢が70歳目前に迫り、本部からは若手リーダー育成と会員拡大が焦眉の急であるとの課題が報告された。今後の支部活性化策として今後各支部が、①「支部会友(準会員)」をいかに本会員に取り組みか、②「ユースクラブ(26歳以下)会員」を拡大して後継者育成に務めることを中心に真剣な協議が行われました。

● 「日本三百名山(上・中・下巻)」の発刊



本年7月、「日本三百名山」(山と溪谷社)が発刊されました。本書掲載の三百の山々は、深田久弥著「日本百名山」をそのまま残して、日本山岳会が全国200の名峰を選び、「三百名山」としました。

300山の選定には古くは谷文晁の「日本名山図解」や「信州百山」、「越中の百山」などを参考に検討を重ね、昭和52年日本山岳会会報の「山日記」にはじめて「日本三百名山(案)」として紹介されたようです。以来38年の時を経て、昨年、本部から各県支部に本書出版のため調査登山と原稿執筆依頼があり、県内の13座について支部全体で取り組み出来上がりました。フルカラー印刷で内容もまとまっていてとても読みやすいものとなっております。

● 今後の会議、山行等の予定

- 支部役員会
11月14日(金)13:30～福島市民会館
- 燕岳登山
11月20日(木)～22日(土)
- 年次晩餐会(支部長会議)
12月6日(土) 東京新宿プラザ
- 支部機関誌「やまなみ」発刊～11月

● 会員計報

日本山岳会福島支部会員 阿部浩様(梁川町居住14330)は、10月19日ご逝去されました。JAC支部員としての数々の功績を讃えるとともにご冥福をお祈りします。